



前安城市長

杉浦正行氏

寺領町 69歳

3期12年間市長を務められ市政の発展に尽くされた杉浦正行氏を、5月8日の市制54周年記念式典「発展祭」で名誉市民に推挙します。

発展祭で 名誉市民に推挙

3月の定例市議会での決定を受け、前安城市長の杉浦正行氏を、5月8日の発展祭で10人目の名誉市民として推挙します。

杉浦氏は、県立安城農林高等学校を卒業し、26歳の若さで桜井町議会議員として初当選されました。以来、市議会議員、県議会議員を歴任され、平成3年2月15日、5代目の市長に就任。その後3期12年にわたり市長を務め、平成15年2月14日に任期を終えて退任されました。

杉浦氏は、卓越した政治力と優れ

た先見性により時代の先端をいく行政を実施。広域行政の推進、環境保全型農業の推進、都市基盤の整備充実、教育文化の振興、社会福祉の充実など、今日の安城市の発展をもたらしました。

また、平成9年4月に安城産業文化公園「デンパーク」を開園し、本市の産業文化の発展に力を注がれ、翌年には「地球にやさしい環境都市」宣言により本市の未来のまちづくりを示唆されるなどその功績は高く評価されています。

<< 杉浦正行氏の主な功績 >>

- 第6次安城市総合計画の策定
- 中部・昭林公民館、市民ギャラリー、三河安城小学校の建設など教育・文化の振興充実
- 衣浦東部広域行政圏協議会会長(平成12年4月～平成14年3月)として、衣浦東部広域連合の設立など、広域行政の推進に寄与
- 社会福祉会館の建設など社会福祉の充実
- 土地改良事業、せん定枝リサイクルプラントの建設など環境保全型農業の推進
- 安城産業文化公園「デンパーク」の建設
- 安城北部・安城作野・安城新幹線駅周辺地区の土地区画整理の推進、下水道・公園など都市基盤の整備充実
- 名豊道路建設推進協議会会長(平成4年7月～平成15年2月)として、名豊道路の建設に寄与



平成9年4月のデンパーク開園式

問い合わせ▼秘書課